

JA松任青年部

YOUTH SITE



「一年間、ありがとうございました」

JA松任青年部 委員長 北村 市大

平素より盟友やそのご家族、JA松任の皆様そして組合員の皆様には、青年部活動に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2025年を振り返りますと、12月8日に発生しました青森県東方沖地震が記憶に



新しいかと思えます。被災者の無事を祈ると共に、2024年の元日に発生した能登半島地震の記憶が蘇った方も多いのではないかと思います。このまま地震が終息していくことを願わずにはいられません。

また米価の高騰が何かと話題にあがった1年であったかと思えます。3月末から始まりました政府備蓄米の放出も一旦は価格が下落傾向となりましたが、令和7年産の新米販売を期に価格が上がり依然として高止まりしたままです。その為もありますか、当青年部で企画しました田植え体験では参加者の関心は高かったように思います。

さて青年部委員長という大役をお受けするにあたって、私は

「Succession（サクセッション） 継承」というテーマを掲げました。

このテーマは先のコロナ禍の折に縮小を余儀なくされた青年部活動を再び盛り立てて下さった先輩たちの基盤を受け継ぎ、それを維持発展させていこうという思いから生まれました。それはもちろん私一人でできることではなく、JA職員や組合員そして副委員長をはじめとする盟友各位の尽力があつたからこそ実現できるものです。多くの方に支えられて役目を終えることができました。

近年盟友の数は減少が続いていますが、JA松任青年部の特色である農家盟友と非農家盟友の融合、「農」を活動の中心としつつも人と人との繋がりによる多様性。その強みを活かした地域への貢献活動は、短い任期の間でしたがまだまだ可能性を感じ取ることができました。令和8年度の新体制になりましてもその強みを生かして青年部をさらに発展させて行ってくれることと思いますので、引き続き力強いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが一年間支えて頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。